

オラクル・フィナンシャル・サービス ノウ・ユア・カスタマー

ORACLE® Financial Services

オラクル・フィナンシャル・サービス・ノウ・ユア・カスタマーは、リスクやデューデリジェンスの強力な自動アセスメントを提供します。さらに、調査担当者の自由裁量で、オーバーライドやデューデリジェンスを強制する柔軟性もあります。

主な特徴

- 包括的で拡張可能なスコアリングモデル
- リスクスコアリングのモデル拡張はユーザーインターフェイスから行うことで、技術者の必要性を減らしています
- 顧客と関係を持っている間は継続的に行う顧客のリスクモニタリング
- 拡張可能なデータとリスクモデルは、バッチとリアルタイム両方で、導入時間とコストを削減します
- 新規登録サービスは、質問事項とリアルタイムのリスクスコアリングの両方について、元となるシステムと簡単に統合することができます
- 高度で改善されたデューデリジェンスプロセスが、コストを増やすことなく質の高い調査を可能にします
- オラクル・フィナンシャル・サービスの「フィナンシャル・クライム・アンド・コンプライアンス・マネジメント」の他のアプリケーションと標準統合

金融機関は常に、金融犯罪に手を染めていたり、コンプライアントを順守しないアクティビティがあったり、金融機関を利用して違法目的を達成しようとしたりする顧客を見つけ、未然に防ごうとしています。世界中の規制機関から要求される顧客確認 (KYC) 政策は、個人情報窃盗や不正、マネーロンダリングやテロ資金調達を防ぐために重要なものです。金融機関は、自分たちの顧客確認管理によって、規制機関の要求を満たすだけでなく、不正による損失を減らし、顧客との関係全般を向上させようと考えます。オラクル・フィナンシャル・サービス・ノウ・ユア・カスタマーは、金融犯罪を見つける費用効率の高い手段を提供し、銀行が規制機関の要求に応え、そして顧客との関係全般を改善します。

顧客リスクをスコアリングする包括的なプラットフォーム

オラクル・フィナンシャル・サービス・ノウ・ユア・カスタマーは、顧客のリスクをスコアリングする包括的なモジュールを備えています。柔軟性と拡張性のあるリスクをスコアリングするモジュールで、世界中の機関で多様な顧客確認の規制要求を満たす手助けをします。リスクスコアリングのエンジンには、主に次のような特徴があります。

- リスク評価を常に最新のものにするために、顧客集団を継続的にモニタリング
- アラート生成機能や顧客情報の変化によってアラートを誘発するようなアクティビティが発生したときに、顧客のプロフィールをエスカレートさせるための、よりスピードを速めたリスクスコアリング再評価
- 地理、人物層、ウォッチリスト分析、本人確認、悪材料など、標準的なリスクスコアリングの変数を網羅した、標準的なリスクスコアリングモデル
- 小売業、企業、卸売業など、異なるビジネスに対するサポート
- アカウントを開いて良いかどうかの判断を手助けするための顧客登録時の情報収集
- アカウントや顧客登録プロセスを速めるための、リアルタイムのリスク評価
- 複数国、複数地域のサポート
- 顧客確認のためのリスクモデル作成に、オラクル・フィナンシャル・サービスの「インライン・プロセッシング・エンジン (IPE) 利用。IPEの用語では個々のリスク変数は評価、そしてリスクモデルはアセスメントとなります
- リスク変数の各数値のリスクスコアを表示するのはひとつのユーザーインターフェイス
- リスクスコア、リスク重要性、そしてリスク価値を調整するため、個々のバッチの実行IDを元にリスクアセスメントをするデータ構造

このアプリケーションでは、ユーザーやITパートナーに国内および国外の顧客確認要件を満たすビジネスルールを設定する権限を与えることができます。

主な利点

- 標準のリスクスコアリングのモデルで国内および国外のアンチマネーロンダリングや金融テロ対策の規制条件を満たします
- 効率的なデューデリジェンスのプロセスを用いて複数管轄、複数国のリスクスコアリングを一度に行うことが可能
- アカウントと顧客の新規登録プロセスを改善
- フロントラインでの顧客リスクの危険度を減らし、顧客関係を強化
- オラクル・フィナンシャル・サービスの中核となるアプリケーションを使い、エンドツーエンドのコンプライアンスプロセスを達成
- 標準インターフェイスを使い、第三者のシステムと情報交換

効率的なエンハンスド・デューデリジェンスのプロセス

オラクル・フィナンシャル・サービス・ノウ・ユア・カスタマーは、基本となるケースマネジメントプラットフォームの調査機能を使い、金融機関がエンハンスド・デューデリジェンス(顧客デューデリジェンス)プロセスを実行するための、効率的で費用効果の高い方法を提供します。特定の閾値を満たすリスクアセスメントは、デューデリジェンスへとエスカレートされます。調査担当者とアナリストは、簡単かつ強力な調査ツールを使い、顧客のリスクアセスメントを判断します。このアプリケーションには、デューデリジェンスのプロセスを手助けする次のような主な機能があります。

- より良い判断をするための、包括的なビジネスデータへのアクセス
- リスクスコアの原因となるリスク変数の属性を見直す機能
- 調査を見直したり記録するための、使いやすい直感的なインターフェイス
- リスクスコアをオーバーライドするサポート
- ユーザーが開始するウォッチリストのスクランなどのデューデリジェンスの構成要素
- ユーザーから与えられたリスクスコアを使った、マニュアル・ケース・クリエーションのサポート
- システムがリスクスコアを出した顧客の調査をさらに詳しく行うケースについて、手動によるリスクアセスメントの引き上げ
- 顧客の過去の動きやリスクアセスメントの結果を理解するための、包括的な監査履歴
- 悪材料、本人確認サービスを第三者プロバイダと統合することで、顧客を調査する時間の短縮
- 役割を元に情報にアクセスすることで、管轄を超えた配備を助ける

顧客とアカウントを登録するプロセスを楽に

国際的な機関のほとんどが、その機関の持つ顧客確認プロセスを利用してアカウントや顧客の登録プロセスを改善しています。金融機関は、顧客と新しい関係を始めるときには、顧客確認をすることが義務づけられています。これは、利益性のある関係かどうかを確かめるだけではなく、そのプロセスを通して価値のある顧客満足体験を提供するためでもあります。オラクル・フィナンシャル・サービス・ノウ・ユア・カスタマーは、高度な情報交換フォーマットを使い、既存のシステム全体でデータを維持したり共有したりすることを容易にします。これにより、金融機関は新しい顧客に対して、リアルタイムのチェックを行うことが可能になります。顧客満足体験を低下させることなく、顧客のリスクの高さを特定することで、このようなチェックは顧客や口座を登録するプロセスの役に立ちます。

さらに、顧客確認に関連する情報は、顧客関係マネジャーが顧客と利益ある、そして健全な関係を維持するのに役に立ちます。顧客確認の情報へのアクセスを提供することで、顧客プロフィールの360°の視界を最前線の顧客関係マネジャーは得ることになります。オラクル・フィナンシャル・サービス・ノウ・ユア・カスタマーソリューションは、これらの目的を達成するための重要な役割を果たします。

エンド・ツー・エンドのコンプライアンスをサポートする標準導入

オラクル・フィナンシャル・サービス・ノウ・ユア・カスタマーは、関係のあるコンプライアンスソリューションとの統合を促すために、標準化された情報交換インターフェイスを装備しています。このアプリケーションには、オラクル・フィナンシャル・サービス・アンチ・マネー・ロンダリングとフロードのアプリケーションがあらかじめ設定されています。これにより、エンド・ツー・エンドのコンプライアンスプロセスを自動化することが可能になります。

オラクル・フィナンシャル・サービス・ノウ・ユア・カスタマーソリューションは、次のインターフェイ

スと動くようにデザインされています。

- **新規登録サービス:** これには、質問事項とリアルタイムのリスクスコアリングのインターフェースが含まれ、それぞれ独立して使うことも、一緒に使うこともできます。
- **リアルタイムのリスクスコアリングのインターフェイス:** このリアルタイムのインターフェースは、省略された顧客リスクスコアを提供します。これを使うことで、アカウントの新規登録や顧客の新規登録が強化されます。リクエストを受け取ったら、リスクスコアをフィードバックします。
- **顧客とアカウント参照データのインターフェイス:** この参照情報は、顧客やアカウントの情報を見つけて、さらなるリスクアセスメントのプロセスへ送るために使われます。現在は、顧客確認システムがこのデータを参照し、それをステージング領域からAMLシステムに送っています。
- **ウォッチリストのインターフェイス:** DISファイルを通して金融機関にアップロードされる、社内および社外のウォッチリストについて顧客をスクリーニングするために、ウォッチリストのデータを使います。このインターフェイスは、バッチでもオンラインでも利用できます。
- **リスクスコアをフィードバックするインターフェイス:** このインターフェイスからエクスポートされた情報は、他のフロントオフィスやバックオフィスのシステムに更新できます。リアルタイム・アカウント・オンボーディングの一部として、リスクスコアはフロントオフィスのシステムに提供されます。バッチモードでのリスクアセスメントを終了するステップの一部として、このリスクスコアは他のバックオフィスのシステムでも利用することができます。
- **AMLと不正アラートのインターフェイス:** 「アンチ・マネー・ロンダリングおよびフロードのアラートデータは、エスカレートされた顧客の再評価を始めるのに使われると同時に、全体のリスクスコアに影響する要因としても使われます
- **第三者インターフェイス機能:** 第三者サービスのインターフェイス機能には、本人確認サービス、悪材料プロバイダなどが含まれています。第三者による確認をするための強力なインフラストラクチャーが整っています。

「将来にわたって使える」 コンプライアンスのための投資

オラクル・フィナンシャル・サービス・ノウ・ユア・カスタマーは、金融犯罪およびコンプライアンス管理のためのオラクル・フィナンシャル・サービス・アナリティカル・アプリケーション (OFSAA) のなかで運用されます。OFSAA は、金融サービス業界特有のニーズに対応した、初の総合的なアプリケーションセットです。このシリーズは「アンチ・マネー・ロンダリング」、「フロード」、「ノウ・ユア・カスタマー」、「トレーディング・アンド・ブローカー・コンプライアンス」という、オラクル・フィナンシャル・サービスによる、クラス最高のリスクおよびコンプライアンスの行動検知アプリケーションで構成されています。金融犯罪およびコンプライアンス管理のための OFSAA は、安定したデータモデルと統合的なダッシュボードの機能を利用する、エンド・ツー・エンドのアプリケーションを提供し、会社全体の金融犯罪やコンプライアンスに関わるすべてのアクティビティを、ひとつの透明性の高い相対的なビューで見せることができます。オラクル・フィナンシャル・サービスは、コンプライアンス違反のリスクやコンプライアンス全般のコストを高めるような、業務の非効率性を見つける手助けをします。

複数のアプリケーションを統合したオラクル・フィナンシャル・サービス・フィナンシャル・クライム・アンド・コンプライアンス一式は、規制当局が今後出すコンプライアンス要求にも対応しつつ、金融機関が今日の戦略的リスクやコンプライアンス問題に対処するお手伝いをします。将来のリスクやコンプライアンスのイニシアチブを見つける戦略を確立することで、金融機関は既存のビジネス、機能やテクノロジーの構成要素などを利用しながら、ビジネスおよび規制条件の変化に対応することができます。そうすることで、データの一貫性と効率性を改善し、業績を伸ばし、生産までの時間を改善し、競争優位性を強めることができます。そして、これらすべてが、コンプライアンスの全体コストを抑えつつ可能になるのです。

オラクル・フィナンシャル・サービス・アナリティカル・アプリケーションについて

オラクル・フィナンシャル・サービス・アナリティカル・アプリケーションは、金融機関が積極的に

「フィナンシャル・クライム(金融犯罪)」「コンプライアンス」「リスク」「トレジャリー(財務)」「フィナンシヤル(資金管理)」「フロントオフィス」を管理するための最善の機能を提供します。これらのアプリケーションは、統合されたフィナンシヤルサービスのデータモデル、分析計算、メタデータで動く「R」モデリングプラットフォーム、および業界をリードする「オラクル・ビジネス・インテリジェンス」プラットフォームからなる、広く入手可能な分析のためのインフラを基に作られています。

データモデルとインフラストラクチャーがひとつに統合されているため、企業全体にわたり、ビジネスユーザーが受け取る分析の“真実”はひとつとなります。このため、金融サービス機関は、自信を持って業績、ガバナンス、リスク、コンプライアンスを管理することが可能になります。データ、メタデータ、計算やビジネスルールが共有されることで、金融機関は経費をおさえながら今後のビジネスや規制の要求にも応えることができます。そして、統合されたプラットフォームは、金融機関が既存の投資を利用するのに役立つのです。



お客さま窓口

オラクル・フィナンシヤル・サービス・ノウ・ユア・カスタマーについてご質問がありましたら、oracle.com をご覧いただくか、+1.800.ORACLE1 までお電話ください。

オラクルとつながる

 blogs.oracle.com/financialservices

 facebook.com/OracleFS

 twitter.com/oraclefs

 oracle.com/financialservices

Integrated Cloud Applications & Platform Services

Copyright © 2017, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. This document is provided for information purposes only, and the contents hereof are subject to change without notice. This document is not warranted to be error-free, nor subject to any other warranties or conditions, whether expressed orally or implied in law, including implied warranties and conditions of merchantability or fitness for a particular purpose. We specifically disclaim any liability with respect to this document, and no contractual obligations are formed either directly or indirectly by this document. This document may not be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, for any purpose, without our prior written permission.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Xeon are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Opteron, the AMD logo, and the AMD Opteron logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark of The Open Group. 0817



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment